

令和6年度 社会福祉法人 富士宮市社会福祉協議会 事業報告

1. 法人運営事業 【サービス区分：法人運営事業】

事務、事業の適正化を目的に、財務についての検討及び事業評価を行い、安定的な事業推進を図りました。

●組織運営

・理事会の開催

開催日	主な審議内容
令和6年 5月14日(火)	○令和5年度富士宮市社会福祉協議会事業報告の承認について ○令和5年度富士宮市社会福祉協議会収入支出決算の承認について ○富士宮市社会福祉協議会評議員の推薦について ○富士宮市社会福祉協議会理事の候補について ○令和6年度富士宮市社会福祉協議会会長表彰について ○富士宮市社会福祉協議会評議員会の招集について
令和6年 5月29日(水)	○富士宮市社会福祉協議会副会長及び常務理事の選任について ○富士宮市社会福祉協議会顧問の選任について ○富士宮市社会福祉協議会評議員選任・解任委員の選任について
令和6年 9月24日(火)	○富士宮市社会福祉協議会補正予算(第1号)(案)について ○富士宮市社会福祉協議会職員就業規則の一部変更について ○富士宮市社会福祉協議会契約職員就業規則の一部変更について ○富士宮市社会福祉協議会職員給与規程の一部変更について ○富士宮市社会福祉協議会職員の退職手当に関する規程の一部変更について ○富士宮市社会福祉協議会応急小口資金貸付事業規程の一部変更について ○富士宮市社会福祉協議会評議員の推薦について ○富士宮市社会福祉協議会理事の候補について ○富士宮市社会福祉協議会評議員会の招集について
令和7年 1月16日(木)	○富士宮市社会福祉協議会補正予算(第2号)(案)について ○富士宮市社会福祉協議会訪問介護事業職員に対する処遇改善手当の支給に関する規程の制定について ○富士宮市社会福祉協議会評議員会の招集について
令和7年 2月4日(火)	○富士宮市社会福祉協議会補正予算(第3号)(案)について ○富士宮市社会福祉協議会評議員会の招集について
令和7年 3月11日(火)	○富士宮市社会福祉協議会職員の勤務延長について ○富士宮市社会福祉協議会職員給与規程の一部変更について ○富士宮市社会福祉協議会会計補正予算(第4号)(案)について ○令和7年度 富士宮市社会福祉協議会事業計画の同意について ○令和7年度 富士宮市社会福祉協議会会計予算(案)について ○富士宮市社会福祉協議会評議員会の招集について

・評議員会の開催

開催日	主な審議内容
令和6年 5月29日(水)	○令和5年度富士宮市社会福祉協議会事業報告の承認について ○令和5年度富士宮市社会福祉協議会収入支出決算の承認について ○富士宮市社会福祉協議会理事の選任について

令和6年 10月2日(水)	○令和6年度富士宮市社会福祉協議会会計補正予算(第1号)(案)の承認について ○富士宮市社会福祉協議会理事の選任について
令和7年 1月24日(金)	○令和6年度富士宮市社会福祉協議会会計補正予算(第2号)(案)の承認について
令和7年 2月12日(水)	○令和6年度富士宮市社会福祉協議会会計補正予算(第3号)(案)の承認について
令和7年 3月25日(火)	○令和6年度富士宮市社会福祉協議会会計補正予算(第4号)(案)の承認について ○令和7年度富士宮市社会福祉協議会事業計画の承認について ○令和7年度富士宮市社会福祉協議会会計予算(案)の承認について

・評議員選任・解任委員会の開催

開催日	主な審議内容
令和6年8月6日(水)	評議員の選任について
令和6年11月14日(木)	評議員の選任について

・監事監査(会計と業務の執行状況)を実施しました。(令和6年5月2日(木))

●人材育成への取り組み

- ・内部研修 令和6年5月24日(金)：重層的支援体制整備事業研修
令和6年7月12日(金)：苦情対応研修 講師：株式会社インソース
- ・階層別研修 令和6年7月9日(火)：元気な自分と働きやすい職場であり続けるために
講師：日本カウンセラー協会
- ・新入職員研修 令和6年4月2日～4日、7月2日、11月8日
- ・テーマ別外部研修への積極的な参加
- ・福祉関係資格(社会福祉士等)取得の促進(富士宮市社会福祉協議会資格取得支援制度利用2名)

●会員加入の促進

- ・各地区社会福祉協議会総会や日本赤十字社富士宮地区・富士宮市社会福祉協議会合同大会において協力依頼を行いました。

●行政とのパートナーシップの構築

- ・各事業において、市の担当課と連携し事業推進に努めました。

●安全運転管理

- ・安全運転講習の実施：令和6年12月18日(水)
- ・全職員対象に年間を通してアルコールチェックの実施

●車いす貸し出し事業

介護保険の認定申請中の方、急な外出や怪我により一時的に必要な方等に対し、短期間の貸し出しを行いました。 貸出台数 215台(前年度218台)

2. 企画広報事業 【サービス区分：企画広報事業】

●社協広報紙「明るいまち」の発行 令和6年度は、配布方法の制限等により発行を見合わせ、その間、以下事項の検討を行いました。 ・社協広報紙のあり方、内容、配布方法の検討(令和7年5月号より再開) ・ホームページの更新について検討(広報担当職員で確認、更新) ・SNSの活用(インスタグラムの開始) ●ホームページの管理運営 ・アクセスしやすいホームページ作りと、各事業の情報が常に更新されるよう管理しました。 ●日本赤十字社富士宮地区・富士宮市社会福祉協議会合同大会の開催 開催日：令和6年6月29日(土) 9:30～12:00 会 場：富士宮市総合福祉会館 安藤記念ホール 内 容：(1)表彰状・感謝状の贈呈 (2)日本赤十字社・富士宮市社会福祉協議会の事業説明
--

(3) 記念講演「能登半島地震から見えた地域コミュニティの大切さ」

講 師：災害対応 NPO MF P 代表 松山 文紀 氏

●表彰状・感謝状の贈呈

・表彰規程に基づき、社会福祉功労者や協力者への表彰状・感謝状の贈呈を行いました。また、静岡県社会福祉協議会会長表彰をはじめ知事表彰、厚生労働大臣表彰等の推薦を行いました。

- ・富士宮市社会福祉協議会会長表彰 8 名
- ・富士宮市社会福祉協議会会長感謝状 20 名(団体)
- ・静岡県共同募金会会長感謝状 4 名(団体)

3. 地域福祉推進事業 【サービス区分：地域福祉推進事業】

「富士宮市地域福祉推進計画」(第 4 期地域福祉計画・第 4 期地域福祉活動計画)に基づき、地域の方々と一体となり、行動計画の作成、取り組み状況の確認と見直しを図り、各地区の事業推進に努めました。

●地域福祉推進計画上半期会議の開催

・開催日程

地区	上半期	下半期	地区	上半期	下半期
大宮地区	10 月 16 日	3 月 1 日	大富士地区	8 月 31 日	1 月 18 日
大宮東(黒田)	地域回答	2 月 13 日	上野地区	10 月 4 日	1 月 31 日
〃 (富士見)	地域で開催	2 月 16 日	北山山宮地区	10 月 25 日	2 月 7 日
〃 (東)	地域回答	2 月 3 日	上井出地区	8 月 25 日	2 月 25 日
大宮西地区	9 月 19 日	2 月 20 日	白糸地区	10 月 16 日	2 月 20 日
富士根南地区	10 月 10 日	2 月 27 日	猪之頭地区	9 月 11 日	2 月 18 日
富士根北地区	9 月 13 日	2 月 28 日	芝川地区	10 月 16 日	2 月 12 日
富丘地区	11 月 8 日	地域回答	柚野地区	随時	随時

※随時は都度確認。地域回答は地域住民のみで開催。

・前期まとめ(令和 6 年 4 月～9 月)

(1) 上半期・下半期会議の開催方法の変更

(変更前) 3～4 地区社協を集め上半期会議・下半期会議を開催

(変更後) 地区社協ごとの開催

半期会議のための振り返りではなく、行動計画としての視点を持った展開につながるよう形式及び職員の関り方を変更しました。

(2) 地区社協会議の際、必ず活動計画に触れる機会を持つよう共有しました。

(3) 進捗確認シートを用い、社協と地域双方が確認できるよう見える化に努めました。

・後期まとめ(令和 6 年 10 月～令和 7 年 3 月)

(1) 地区社協連絡会において、地域福祉推進計画の進捗管理について説明しました。

(2) 地域福祉推進アドバイザーと地域ささえあい係で次期計画について進め方の確認をしました。

(3) 全地区において下半期の進捗確認及び評価を行いました。

●地域福祉活動計画策定・推進委員会の開催

【第 1 回】 地域福祉活動計画策定・推進委員会

開催日：令和 6 年 12 月 3 日(火) 14：00～15：30

会 場：富士宮市総合福祉会館 第 1 会議室

出席者：委員 6 名、富士宮市福祉企画課 1 名、富士宮市高齢介護支援課 1 名、社協 12 名

内 容：14 地区社協の上半期進捗と評価の報告

【第 2 回】 地域福祉活動計画策定・推進委員会(富士宮市地域福祉計画策定専門部会と合同開催)

開催日：令和 7 年 3 月 13 日(木) 19：00～21：00

会 場：富士宮市役所 630 会議室

出席者：市社協委員 6 名、市委員 5 名、富士宮市福祉企画課 3 名、社協 6 名

内 容：令和 6 年度総括

4. 地区社協活動事業 【サービス区分：地域福祉推進事業】

各地区社会福祉協議会が掲げた事業計画が円滑に進められるよう、役員からの相談対応や情報提供、各関係団体と連携しながら安定した運営と継続した取り組みができるよう支援しました。

●地区社協連絡会

市社会福祉協議会と各地区社会福祉協議会の情報共有や学習を通じて、地域福祉活動に対する理解を深める機会としました。

【第1回】

開催日：令和6年9月8日(日) 13:30～15:00

会 場：富士宮市総合福祉会館 安藤記念ホール

参加者：地区社協役員、新任推進委員、一般市民、社協職員 合計94名

内 容：「地区社協ってなあに？ ～地区社協の未来を考えよう～」

地区役員(会長、副会長、企画委員長)が登壇しファシリテーターの進行を基に、各々の立場から地区社協の現状や課題、展望について考える。

【第2回】

開催日：令和7年1月31日(金) 13:30～15:00

会 場：富士宮市総合福祉会館 第1・2会議室

参加者：市内14地区社協会長、支部長、企画(推進)委員長 合計27名

内 容：①補助金の現状について(説明)

②グループワーク(困っていること、改善点、提案、感想)

③地域福祉活動計画について(説明)

●地区社協活動に関する情報発信

地域福祉活動を紹介する広報紙「ささえあい通信」を発行(年3回)、各地区社会福祉協議会へ配布の他、富士宮市総合福祉会館内専用ラックへ設置し情報発信に努めました。

●地区社協への助成

地区社会福祉協議会活動が円滑に推進できるよう、補助金を交付しました。

補助金プロジェクトを立ち上げ、補助金要綱の整備に着手しました。

5. 生活支援体制整備事業(第2層協議体推進業務) 【サービス区分：地域福祉推進事業】

自治会支部圏域における高齢者の生活支援・介護予防サービス体制整備の推進を図るため、地域の生活課題の把握やネットワーク構築に向けたコーディネート業務に努めました。

●第2層協議体の運営

- ・市内7圏域で組織された第2層協議体において、高齢者が抱える生活課題の解決に向け、地域の良さを活かした仕組みづくりについて協議を行いました。

地区	協議体	部会	事前打合せ	テーマ
白糸・上井出	6		6	筋力アップにつながる取り組み
上野・北山	6		6	お買い物バスツアーの地域移行 ごみ出しニーズの調査
根南・根北	5	12	29	社会福祉法人による居場所への送迎 移動販売
富丘・大富士	5		5	地区版社会資源マップの検討
大宮中・大宮東	4	5		まちなかにおける休憩スペースの創出
大宮西	6		6	社会福祉法人による居場所への送迎 地区社協との連携
芝川	6		6	地域資源、個別課題の見える化

- ・第2層協議体委員長・副委員長会議の開催

生活支援体制整備事業の共通理解を図ると共に、情報交換、グループワークを通し、今後の協議体運営

に反映していただくことを目的として開催しました。

開催日	内 容
令和6年5月15日(水)	スケジュール確認、内規の変更について報告
令和6年8月21日(水)	グループワーク：テーマ「地域資源情報誌」について
令和6年11月20日(水)	グループワーク：テーマ「協議体でのアイデア出し」について

・新任委員研修の開催

新任委員を対象に、事業理解を深めると共に、委員が担う役割を認識していただくため開催

開催日：令和6年6月4日(火)

会 場：富士宮市総合福祉会館 第1会議室

内 容：「生活支援体制整備事業の概要」

講師：一般社団法人コミュニティネットハピネス 代表理事 土屋 幸己 氏

・第2層協議体報告会の開催

市内7協議体で検討協議、実施してきた事例について報告を行うと共に協議体委員間の情報共有の機会として開催しました。

開催日：令和7年3月9日(日)

会 場：富士宮市総合福祉会館 安藤記念ホール

対 象：第1層、第2層協議体委員、地区社会福祉協議会会長、推進(企画)委員長など

参加数：約90名

内 容：改めて考える「協議体」ってなあに？

講師：一般社団法人コミュニティネットハピネス 代表理事 土屋 幸己 氏

経過報告 「買い物バスツアーの取り組み」～プレ運行からその後・地域との連携～

上野・北山地区協議体 委員長 石川 明彦 氏

上野地区社会福祉協議会 会 長 藁科 元成 氏

社会福祉法人 ふらら 理事長 渡邊 一敏 氏

ファシリテーター：第1層生活支援コーディネーター徳田 雄人 氏

実践報告 担当 SC より各地区協議体の活動報告

第1層協議体(地域ささえあいプロジェクト)活動報告

富士宮市高齢介護支援課 望月 雄太 氏

講 評 一般社団法人コミュニティネットハピネス 代表理事 土屋 幸己 氏

●広報活動の実施

- ・社協ホームページや地域ささえあい通信、報告会等を活用し、協議体や生活支援コーディネーターについての理解を深めました。
- ・地域資源情報誌について、委員長・副委員長会議内グループワークで挙げた意見を基に、従来の全市のな情報誌から圏域ごとの情報誌に変更した。

6. 地域寄り合い処事業 【サービス区分：地域福祉推進事業】

●寄り合い処運営支援(開所数：112か所)

開催場所や時間などを含め、安定した運営や継続・発展に向けた取り組みが行えるように、相談対応や情報提供及び運営されている地域の自治会などとの環境・関係調整を行いました。

備品貸与141件(運動系101件、かるた等40件)

●スタッフ研修会の開催

第1回目：令和6年10月19日(土) 10:00～11:30

会 場：富士宮市総合福祉会館 安藤記念ホール

テーマ：「災害の現状及び、災害に備えた普段からのつながりの必要性」

講師：災害対応NPO MFP代表 松山 文紀 氏

参加者 寄り合い処55カ所・116名

第2回目：①大宮・大宮西・大宮東

開催日：令和7年1月28日(火)10:00～11:30 会場：富士宮駅前交流センターきらら 集会室

②大富士・富丘・富士根北・富士根南

開催日：令和7年2月4日(火)13:30～15:00 会場：富士宮市総合福祉会館 第1・2会議室

③猪之頭・上井出・白糸・上野・北山・山宮

開催日：令和7年2月5日(水)10:00～11:30 会場：白糸会館 第1・第2集会室

④芝川・柚野・稲子

開催日：令和7年2月13日(木)13:30～15:00 会場：芝川公民館 第1・第2・第3会議室

- 内 容
- ・令和6年度第1回地域寄り合い処スタッフ研修会アンケート結果報告
 - ・石川県珠洲市災害ボランティアセンター応援派遣 報告
 - ・ゲームで学ぶ身近な防災
 - ・グループワーク

●開設支援

- ・新規開所 1件 (上羽鮎区松林町内会)
- ・開設相談 2件(継続中) (三園平区、村山2区)
- ・趣旨、目的、役割、運営・活動方法について説明
- ・自治会への理解促進
- ・寄り合い処見学への同行

●その他

- ・広報活動
社協公式 Instagram にて情報を掲載
掲載日：12月19日(木)・2月19日(水)・3月5日(水)・28日(金)
岳南朝日新聞やラジオエフ等を通じて、行事等の取材依頼。
- ・視察の対応
御殿場市玉穂地域福祉推進委員会 19名
日時：令和6年10月8日(火) 13:30～15:00
会場：富士宮市総合福祉会館 第1・2会議室
内容：「地域寄り合い処の取り組み」 地域ささえあい係
「寄り合い処さく花 実践報告」講師：寄り合い処さく花 寺田 雅美 氏

7. 地域子育てサロン事業 【サービス区分：地域福祉推進事業】

●子育てサロンの推進・運営支援(サロン数：20カ所)

- ・自治会や民生委員児童委員協議会会合等において、子育てサロンへの理解と子育て応援を求めました。
 - ・新型コロナウイルス感染症対策に関して消毒液・除菌シートの配布を行いました。
 - ・地域子育てサロンアドバイザー8名を委嘱し、子育てサロンやキラキラサロンにおける子育て相談や見守り等を行いました。
- サロン訪問：150回

●地域住民の子育て支援の理解と協力推進

- ・孫・他孫育て講座(参加者：15名)
開催日：令和6年11月16日(土) 10:00～11:45
会 場：富士宮市総合福祉会館 第1・2会議
対 象：孫・他孫(たまご)育て講座を受講済の方、現在子育て支援・応援に関わっている方
目 的：現代の子育て世代や子育て支援に関する理解をさらに深めていただくと同時に、地域の子ども(他孫)や家庭のサポートしていける、地域の子育て応援団を増やしていくため。
内 容：「子どもにパパ・ママに伝えてほしい大切な事」
講師：富士宮市健康増進課 地域子育てサロン担当 保健師 福島 幸恵 氏
「乳幼児に起こりやすい事故やけが」
講師：富士宮防災ボランティアの会 代表 佐野 明子氏
「子どもの発達に合わせた遊び」
講師：子育て世代包括支援センター子育てコンシェルジュ 望月 晶子 氏

●地域子育てサロン紹介展示会及び、イベントDAY

目 的：子育てサロンフェスティバルに代わり、子育て中の親子や地域の皆様に、子育てサロンについて知っていただき、気軽に参加していただくための展示会及び、イベント DAY を開催。

協 力：地域子育てサロンスタッフ(7名)、地域子育てサロンアドバイザー(4名)、富士宮市こども未来課子育て世代包括支援センター子育てコンシェルジュ、富士宮市健康増進課保健師

内 容：パネル展示会(創作室にて相談コーナーの開設)

開催日：令和6年7月30日(火)～8月9日(金)

会 場：市役所1階ロビー

日 時：令和6年9月3日(火)～9月20日(金)

会 場：富士宮市総合福祉会館 ふれあいロビー

内 容：イベントDAY

開催日：令和6年9月14日(土) 10:30～11:30

会 場：富士宮市総合福祉会館 ふれあいロビー

参加者：親子16組

●情報共有の会議の開催

- ・子育て支援連絡会(年2回)

第1回：令和6年5月22日(水)9:30～11:00

第2回：令和7年2月25日(火)9:30～11:00

会 場：富士宮市総合福祉会館 第1・2会議室

参加者：子育てサロン代表者、子育てサロンアドバイザー、主任児童委員、富士宮市こども未来課、富士宮市健康増進課、富士宮市社会福祉協議会

内 容：行政関係者とサロン代表者その他関係機関の情報交換・情報提供・子育てに関する制度や動向に対する現状把握。

担い手人材発掘の為にグループワーク

- ・地域子育てサロンアドバイザー連絡会の開催

第1回：令和6年4月19日(金)10:00～11:00

第2回：令和7年1月24日(金)10:00～11:00

会 場：富士宮市総合福祉会館 ミーティングルーム

参加者：子育てサロンアドバイザー、富士宮市こども未来課子育て世代包括支援センター子育てコンシェルジュ、富士宮市社会福祉協議会

内 容：各サロンに出向いた中での気づきや、個別ケースの情報共有、サロン運営における方向性の確認、子育て支援連絡会の内容検討等を行う。

- ・市立保育園と地域子育てサロンの情報交換会

開催日：令和6年9月6日(金) 13:30～15:00

会 場：富士宮市総合福祉会館 第1・2会議室

対 象：市立保育園14か所担当者・地域子育てサロン代表者及びスタッフ、地域子育てサロンアドバイザー・富士宮市こども未来課子育て世代包括支援センター子育てコンシェルジュ・富士宮市健康増進課

目 的：子育て中の保護者や、スタッフが安心して活動できるよう、お互いが繋がり合い、同じ目標に向かって取り組むことを目的とする。

内 容：発 表：子育てサロン「地域子育てサロンの活動紹介」

発表者：子育てサロン各代表者

発 表：市立保育園「子どもの好きな遊びのレクチャー」について

発表者：富士宮市立保育園 深谷 真里子 氏

参加者：34名(保育士15名 サロン14名 アドバイザー3名、富士宮市こども未来課子育て世代包括支援センター子育てコンシェルジュ、富士宮市健康増進課保健師)

●キラキラサロンの実施

開催日：毎月第2水曜日 9:30～11:30

4月10日、5月8日、6月12日、7月10日、8月7日、9月11日、10月9日、

11月13日、12月11日、1月8日、2月12日、3月12日

会 場：富士宮市総合福祉会館 和室

対象者：子育てに不安を抱える親子・他県からの転入などで知り合いがいない親等

目 的：富士宮市健康増進課における乳幼児全戸訪問事業において、気がかりな親子に対して気軽に参加しやすくするための後押しを行い、親子のふれあい遊びやアドバイザーによる絵本の読み聞かせ、手遊び等を行い、育児に対する不安の解消を図る。

参加者：延べ57名(親31名、子26名)

8. 福祉教育事業 【サービス区分：地域福祉推進事業】

●福祉教育推進連絡会の開催

開催日：令和6年5月30日(木)15:00～16:20

会 場：富士宮市総合福祉会館 第1・2会議室

内 容：(1)福祉教育と富士宮市社会福祉協議会について

(2)「福祉教育と学校」 【講師】富士宮市教育委員会

(3)「ふれあいから繋がるふくしの心」 富士宮市身体障害者福祉会 渡辺 英俊 氏

(4)講評 富士宮市社会福祉協議会福祉教育アドバイザー 若林 直己 氏

参加者：小学校17校 中学校11校 合計28校(前年比 -2)

●学校における福祉教育プログラムの支援

実績：14校(前年比 小学校+1校、中学校+1校、高校+1校、大学-1校)

対応件数：56件

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
件数	1	1	13	5	3	13	12	3	3	1	1	0

- ・各学校で掲げる福祉教育計画を基にプログラムの提案や講師のコーディネートを行いました。
- ・地域内講師による講話や活動への参加・交流機会を作り、地域福祉活動を知り、関心を持ってもらえるプログラムを実施しました。(56件)
- ・パワーポイントや動画、ワークシート等を活用したプログラムを実施し、生徒の関心・理解が深まる内容を検討しました。

●福祉教育における備品貸与実績

- ・車いす18台、アイマスク174枚、白杖94本、点字板155台、ボッチャ4台
- ・高齢者疑似体験キット14セット、ゴールボール4個

9. ボランティア活動事業 【サービス区分：ボランティア活動事業】

●ボランティア活動の支援

- ・ボランティアニーズの把握
- ・ボランティア団体活動(富士宮市ボランティア連絡会各加盟団体)への参加
- ・ボランティア活動に関する相談対応、コーディネートの実施、ボランティア活動の支援
- ・ボランティア相談 新規7件(前年8件)
- ・ボランティア依頼 新規13件(前年15件)
- ・助成金の募集情報および登録団体に関する情報発信(申請件数：2件)
- ・活動の見学や体験する機会の提供と参加へのきっかけ作り
- ・市内で活動する団体や個人に対する活動支援
- ・ボランティア活動保険加入数 61団体(前年114団体) 総加入者数1,791名(前年1,627名)
※事故対応13件

●ボランティアの育成

- ・ボランティア講座の開催
- ボランティアを受け入れている、または今後受け入れを検討している福祉施設が、ボランティアを受け入れるための基礎知識を学び、受け入れの際の心得や施設内での体制づくりなど、活動環境を整えていくことを目的に実施しました。

開催日：令和7年3月13日(木)13:30～15:30 富士宮市総合福祉会館 第1・2会議室
 テーマ：福祉施設向けボランティア受け入れ講座
 対 象：ボランティアの受け入れをしている・受け入れ検討している福祉施設ボランティア担当者
 内 容：ボランティア受け入れ講座 あなたもわたしも嬉しいボランティアへ！
 ボランティア依頼の手続きについて
 講 師：静岡県ボランティア協会 事務局長 鳥羽 茂 氏
 その後の繋がり：講座後、依頼・問い合わせがありました。(依頼1件・問い合わせ1件)

●災害ボランティア本部運営

災害ボランティア本部の立ち上げや運営について、県内各市町社会福祉協議会や各関係機関、団体との横の繋がり作りを行いました。

<災害ボランティア本部立ち上げ>

- ・災害ボランティアセンター立ち上げ訓練

開催日：令和6年8月5日(月) 9:00～12:00

<他機関連携>

- ・富士市被災者支援ネットワーク会議

開催日：令和7年1月11日(土)

<職員派遣>

- ・能登町災害ボランティアセンター職員派遣

派遣人数：1名

期 間：令和6年5月23日(木)～5月29日(水)の内5日間

- ・珠洲市災害ボランティアセンター職員派遣

派遣人数：1名

期 間：令和6年11月23日(土)～11月29日(金)の内5日間

<研修>

- ・被災者中心の支援力強化研修

開催日：令和6年7月10日(水)、令和7年2月14日(金)

- ・市町社協災害対応研修

開催日：令和6年11月7日(木)

- ・市町社協災害ボランティア担当者会議

開催日：令和7年2月28日(金)

●ボランティア連絡会への支援

10. 子育て支援センター事業(子育て支援センターたち)【サービス区分：子育て支援センター事業】

おおむね0歳から2歳児とその保護者に対し、安心安全なあそび場の提供、親子に寄り添う支援プログラムの実施、利用者同士の交流、情報共有できる場の提供を行いました。また、育児に対して不安感・孤独感を感じている保護者が気軽に相談できる場として、個々に寄り添い、必要に応じて関係機関と連携し、支援を行いました。

●子育て支援センターたち運営

開所日：火～土(9:00～11:45・13:00～15:15)※水曜日午後の部 0歳児利用日

状 況：開所日数：246日 延利用者数：4,742名(1日平均19.3名) 相談件数：526件

- ・講座の開催(延利用者：179名)

4月	親子ヨガ講座	10月	栄養(離乳食)講座
5月	健康相談	11月	健康相談
6月	パパの子育て講座	12月	親子ヨガ講座
7月	歯科講座	1月	出汁・離乳食講座
8月	健康相談	2月	健康相談
9月	バルーンアート講座	3月	乳幼児防災講座

●関係機関との連携

- ・ふじさんシニアクラブ富士宮
季節の行事、紙芝居や絵本の読み聞かせ、手遊びや体操により触れ合い交流を行いました。
実施日：令和6年10月18日(金)(参加者:22名)
令和7年1月24日(金)(参加者:28名)
- ・富丘地区社会福祉協議会主催 あったか家族のつどい
季節の行事や、わらべ歌、絵本の読み聞かせ、体操により触れ合い交流を行いました。
実施日：令和6年7月19日(金)(参加者:22名)
令和6年12月20日(金)(参加者:23名)
令和7年3月14日(金)(参加者:23名)
- ・地域活動支援センターふらっと
クリスマスに折り紙のプレゼントを手渡ししてもらい、触れ合い交流を行いました。
実施日：令和6年12月24日(火)(参加者:7名)
令和6年12月25日(水)(参加者:10名)

11. 参加支援事業(重層的支援体制整備事業)

【令和6年度新規事業】 【サービス区分：地域福祉推進事業】

介護・障害・子ども・困窮等の既存制度では対応できない狭間のニーズに対して、多様な資源の開拓を行い、本人やその家族に対して伴走支援を行いながら、社会とのつながりづくりを進めました。

●参加支援事業

支援対象者：5名、うち支援人数3名

支援延べ件数：98回

- ・独自のアセスメントシートを作成
- ・協力金交付要綱の整備
- ・ふじのみや生活応援基金生活困窮者自立相談支援給付事業実施要領を、本事業対象者も利用できるよう整備

●他機関との連携

- ・企業対象の研修会への参加や企業訪問を行い、本事業の説明及び対象者の理解、切り出し仕事等受け入れ体制を構築できるよう投げかけました。
未来創造塾25団体・富士山SDG's推進パートナー19団体・地域見守りあんしん事業20団体
社会福祉法人16法人・その他企業4件

●既存の地域資源調査

- ・対象者が参加者やスタッフとして活動できそうな居場所を訪問し、関係者に本事業の理解及び受け入れ体制の構築を行ないました。
居場所12件・寄り合い処6件・認知症カフェ3件・事業所2件

●サポートボランティアの育成

- ・対象者を支援していただけるサポートボランティアの募集を行い、3名のボランティア活動に関して、同意をいただきました。

●周知

- ・組織内で発行している「ささえあい通信」にて、本事業の理解を深めるための記事を掲載しました。
配布先：14地区社会福祉協議会・富士宮市民生委員児童委員協議会・地域寄り合い処112ヵ所
地域子育てサロン20ヵ所等

●その他

- ・市重層的支援会議への参加(毎月第4火曜日)
- ・市生活困窮者自立支援事業地域課題会議への参加(毎月第2木曜日)

12. 地域づくり事業(重層的支援体制整備事業)

【令和6年度新規事業】【サービス区分：地域福祉推進事業】

地域住民が持つ多様なニーズや地域生活課題に柔軟に対応できるよう、身近な地域における共助の取組みを進めました。

- ・参加支援事業対象者の居住地域にある地域寄り合い処、認知症カフェ、スロトレ等へ事業説明を実施。誰でも参加できるという回答を得ました。
(認知症カフェ2ヶ所、スロトレ会場2ヶ所、地域寄り合い処2ヶ所、通いの場2ヶ所)
- ・企業、団体等に対し、属性を問わない多様なニーズを抱える方の状況、事業説明等を行い、地域づくりの周知を図りました。
(富士宮市企画戦略課主催未来創造塾、富士山SDG's推進パートナー交流会参加、市内企業3企業訪問)
- ・事業所1ヶ所と交流の場創出に向けての協議を開始しました。(令和7年度当初から詳細協議開始予定。)
- ・市重層的支援会議へ参加(毎月第4火曜日)
- ・市生活困窮者自立支援事業地域課題会議へ参加(毎月1回開催)

13. 応急小口資金貸付事業 【サービス区分：しあわせ支援事業】

生活困窮世帯に対し緊急かつ一時的に必要な生活資金の貸付を行い、生活の安定と福祉の増進を図ることを目的に実施しました。

貸付件数：1件(35,000円)

11件償還中(毎月償還：同時に面談実施)

14. 高額療養費貸付事業 【サービス区分：しあわせ支援事業】

富士宮市の国民健康保険加入者で限度額適用認定証の交付が受けられない方を対象に一時的に支払うべき医療費の負担軽減を図りました。

貸付件数：47件

貸付総額：8,287,542円

医療機関振込：8,287,542円

15. 生活福祉資金貸付事業 【サービス区分：しあわせ支援事業】

低所得や障がい者の生活を経済的に支え、在宅福祉及び社会参加の促進を図ることを目的に静岡県社会福祉協議会が実施する本制度について、富士宮市社会福祉協議会が窓口となり貸付を行いました。

貸付件数：9件 貸付総額：1,641,000円

内訳 緊急小口資金 3件：300,000円

教育支援資金(教育支援費・就学支度金) 4件：961,000円

福祉費(支度費) 2件：380,000円

【新型コロナウイルス特例貸付償還】

免除申請決定：延べ 94件

猶予申請決定：延べ 35件

16. 権利擁護事業 【サービス区分：しあわせ支援事業】

日常生活自立支援事業、法人後見事業において、認知症高齢者や知的障がい者・精神障がい者などの判断能力に不安がある方の支援を行いました。また、成年後見制度の利用促進を図るため、制度についての啓発や権利擁護人材の育成及び活動支援を行いました。

●日常生活自立支援事業の実施(福祉サービス利用援助、日常的金銭管理)

新規相談件数 4件

契約締結件数 3件

終了件数 9件(成年後見制度移行2件・死亡3件・本人申出2件・親族援助2件)

実利用人数 69名(認知症高齢者11名・知的障がい者22名・精神障がい者21名・その他15名)
相談援助件数 2,296件(支援回数)

●法人後見事業の充実(家庭裁判所の審判により法人として後見人等を受任)

- ・法人受任件数 後見 19件・保佐 3件・補助 1件(内訳:新規受任4件、継続15件、終了4件)
監督人 10件(令和6年度受任件数:2件)
- ・法人後見事業運営委員会の開催(事業運営の助言、新規事案の諮問・答申)
委員:弁護士・司法書士・社会福祉士・行政職員 計5名に委員を委嘱
開催日:令和6年5月31日(金)・12月12日(木)
会場:富士宮市総合福祉会館 ミーティングルーム

●成年後見推進事業の充実(成年後見制度の裾野の拡大・制度を担う人材の育成)

- ・市民後見人等フォローアップ研修 4回実施(参加者延べ29名)
- ・成年後見制度普及啓発講演会 開催日:令和6年7月21日(日)参加者:104名
会場:富士宮市総合福祉会館 安藤記念ホール
- ・成年後見事業専門職勉強会 開催日:令和6年11月5日(火)参加者:50名
会場:富士宮市総合福祉会館 第1・2会議室
- ・成年後見制度市民啓発講座 開催日:令和7年3月23日(日)参加者:50名
会場:富士宮市総合福祉会館 第1・2会議室
- ・第3期市民後見人養成講座 開催日:基礎講座:令和6年8月17日(土)
養成講座:令和6年9月21日(土)～令和7年2月8日(土)
全11回(4名修了)
会場:富士宮市総合福祉会館 第1・2会議室ほか
- ・市民後見人受任件数 10件(令和6年度移行件数:2件)

17. 結婚相談事業 【サービス区分:しあわせ支援事業】

毎月5回結婚相談所を開設し、民生委員児童委員協議会・更生保護女性会から選出された相談員が結婚に関する相談に対応しました。

結婚成立件数 : 2組
見合い実施件数: 28件
新規登録者数 : 23名
相談件数 : 606件(男性334件・女性272件)昨年度より8.7%減 ※現在7組が交際中

18. 遺児・交通遺児援護事業 【サービス区分:しあわせ支援事業】

交通事故で親を亡くした児童、その他の理由により両親を亡くした児童に対し、学資手当を支給することで児童の健全育成を図りました。

- ・遺児:18歳未満で、両親を何らかの理由で亡くした児童への援護(対象者:なし)
- ・交通遺児:18歳未満で、交通事故により親を亡くした児童に学資手当を支給しました。
(学資手当:小学生1名※入学支度金:中学校への入学1名)

19. 生活困窮者自立支援事業 【サービス区分:しあわせ支援事業】

生活の悩みや経済的な困りごとについて、相談者と一緒に考え、課題を整理しながら、各支援機関との連携や、社会資源とのつながりを活用しました。継続的な支援が必要な方にプランを作成し、経過等を確認し、自立につながる支援を行いました。

●自立相談支援事業

- 新規相談件数: 172件
- 支援プラン決定件数 136件(支援プラン終結件数:53件)
- 自立相談支援事業支援延べ件数:1,922件
- ・就労支援

就労支援員による企業開拓を行い、相談者に適した就労機会を創出しました。
就労後も寄り添い支援を行い、就労の継続につなげました。

●社会資源づくりの推進

- ・ふじのみやフードサポート事業

地域住民や企業・団体の事業理解により協力者を増やし、地域のサポート力を活かした食糧支援、食事提供を実施しました。

寄付件数 313 件(食料 3445.8kg、日用品 99.7kg、衣類その他 45.3kg)

支援延べ件数：151 世帯 258 名(食料、日用品、衣類)

生活困窮世帯へ食糧応援

開催日：令和6年8月10日(土) 子育て世帯 20 世帯

開催日：令和6年12月22日(日) 子育て世帯 24 世帯(クリスマスイベント)

●事業の周知

- ・事業理解を深めるための講演会

開催日：令和7年3月2日(日) 会 場：富士宮市総合福祉会館 第1・2 会議室

内 容：演題：「貧困に悩むこどもたちに 私達ができること」

講師：認定 NPO 法人キッズドア 松見 幸太郎 氏

参加者：71 名

- ・「ふじのみや生活応援基金」の活用

就労支度金：3 名利用

●アウトリーチ支援事業(重層的支援体制整備事業)【令和6年度新規事業】

- ・事業理解、周知を図れるようチラシを作成し、関係機関、団体、施設等へ配布及び設置し、初期相談へつなげることができました。
- ・「多機関協働事業プラン」を基に、ケースに適したプランを作成し、本人の意思を尊重した寄り添い支援に努めました。
- ・相談受付件数：76 件
- ・プラン作成件数：新規5件・再プラン1件

20. 共同募金配分金事業 【サービス区分：共同募金配分金事業】

10 月 1 日から 12 月 31 日にかけて、赤い羽根共同募金の趣旨や使途について、地域住民の理解が得られるよう広報し、募金活動を行いました。寄せられた共同募金は、地域の生活課題・福祉課題の解決を図るための活動に助成するなどし、活用しました。

富士宮市内で活動する福祉団体から助成希望の事業を公募し、以下のとおり活動を財政面から支援しました。また、低所得世帯支援のための援護活動を行いました。

●共同募金運動の実施

(1) 静岡県共同募金会からの配分金【共同募金】

令和6年度共同募金・歳末たすけあい募金剰余金からの配分金	6,167,878 円
収入合計	6,167,878 円

(2) 静岡県共同募金会からの配分金【歳末たすけあい募金】

令和6年度歳末たすけあい募金からの配分金	2,226,823 円
収入合計	2,226,823 円

●助成事業

- ・赤い羽根共同募金助成事業の公募

市内の福祉関係団体等への助成について、富士宮市社会福祉協議会のホームページ及び地元新聞社を通じて公募しました。

共同募金配分金の使途

富士宮市社会福祉協議会事業(地区社会福祉協議会事業・結婚相談事業・移動支援事業・修学旅行費助成事業・進入学祝い金贈呈事業・災害見舞金贈呈事業)	5,486,878 円
---	-------------

民生委員児童委員協議会、富士宮市ボランティア連絡会	400,000 円
高齢者福祉事業 (1 団体 1 事業)	23,000 円
障害福祉活動事業 (6 団体 9 事業)	191,000 円
住民全般事業 (1 団体 1 事業)	22,000 円
更生保護事業 (1 団体 1 事業)	45,000 円
支出合計	6,167,878 円

歳末たすけあい募金配分金の使途

生活困窮世帯援護活動事業(159 世帯 377 名)	1,608,000 円
施設入所児童援護活動事業(9 施設 22 名)	133,293 円
民生委員児童委員協議会、ふじさんシニアクラブ富士宮	400,000 円
支出合計	2,141,293 円

歳末たすけあい募金：収入合計 2,226,823 円—支出合計 2,141,293 円＝85,530 円

※85,530 円は静岡県共同募金会へ返還。令和 7 年度に再配分されます。

●配分委員会の開催

地域住民の代表で組織する配分委員会を開催し、共同募金及び歳末たすけあい募金の適正な配分が行われるよう、助成内容について審議しました。

第 1 回 令和 6 年 5 月 23 日(木) 9:30～ 会場：富士宮市総合福祉会館 ミーティングルーム

第 2 回 令和 6 年 11 月 26 日(火) 10:00～ 会場：富士宮市総合福祉会館 第 1 会議室

2 1. 居宅介護支援事業 【サービス区分：居宅介護支援事業】

要介護者が住み慣れた地域で生活できるよう利用者の自己決定を尊重し自立支援を基本とした支援を行いました

- ・個別避難計画の作成(実績 1 件)
- ・アセスメントの強化、適切な居宅介護計画書の作成を実施するため主任介護支援専門員 GSV 研修年 3 回、ケアマネジメント検討会 1 回、地域ケア会議 1 回の研修に参加し質の向上に努めました。
- ・介護認定を受けた方からの相談、包括支援センターからの相談により、要支援、要介護者が必要なサービスを受けられるようケースの受け入れを積極的におこないました。
- ・感染症や災害発生時でもサービスを継続し提供できるよう研修に参加し対応できるよう努めました。

【令和 6 年度延利用者数 ※()は前年度】

要支援 1・2：107 件(68 件) 要介護 1・2：194 件(206 件) 要介護 3・4・5：149 件(102 件)

2 2. 訪問介護事業 【サービス区分：訪問介護事業】

要支援の方が要介護に移行し、訪問回数が増加しました。

包括支援センターから居宅介護支援事業所に移行するケースがあり、情報共有・連携を図りました。

生活保護受給者・法人後見利用者等の担当者と情報共有・連携し支援を行いました。

【令和 6 年度利用者数 ※()は前年度】

要支援 1：5 名(5 名) 要支援 2：9 名(10 名)

要介護 1：9 名(9 名) 要介護 2：7 名(7 名) 要介護 3：4 名(4 名)

要介護 4：1 名(0 名) 要介護 5：1 名(1 名)

延べ利用数 2,722 件(2,559 件)

- ・スマホの導入により、訪問介護員からタイムリーな情報伝達を受けられるようになりました。また、介護支援専門員への情報伝達・共有が敏速に行なえるよう改善されました。
- ・毎月 1 回のヘルパーミーティングや外部講師を招いての介護技術研修を行い、スキルアップに努めました。
- ・働きやすい環境作り・休暇の取りやすい環境作りの継続に努めました。

23. 地域活動支援センターバンブー 【サービス区分：地域活動支援センターバンブー事業】

●地域との交流や社会との連携

- ・JA ふじ伊豆女性部会富士宮地区本部芝川支部主催の「うどん作り講習会」と「そば作り講習会」に参加。マンツーマンでの指導により、打ち解けた交流ができました。また、家に持ち帰ることができ、達成感を得ることができました。【初事業】
- ・月に一回の芝川公民館活動「くれいどるの会」の実施メニューの中から適当と思われるものに参加し、他の参加者と親密な交流を図ることができました。【初事業】
- ・見学会を兼ねてバンブー関係者だけでなく一般参加者も募って「歯と口の健口講座」を実施しました。（参加者：利用者5名、保護者2名、一般14名）【初事業】
- ・芝川花そう会と共同で季節の花のポット苗をつくり、道路沿いの花壇に定植しました。また、地域寄り合い処に参加し、利用者が製作した作品をプレゼントするなど地域の方とふれあいを行いました。
- ・民生委員児童委員協議会の障がい者部会や篤志家の厚意により、野外活動やさつま芋堀り体験を行いました。

●創作活動の推進

- ・創作活動の機会を提供するため、ボランティアによる「折り紙教室」「茶道教室」を月に一回開催しました。折り紙は季節の花や行事を題材に行ったが、本を参考に挑戦し出来た作品を家族に見せる姿が見られました。茶道の所作は難しかったが、雰囲気は十分体験できました。【初事業】

●生産活動の推進

- ・生産活動を希望する利用者が少なくないため、障害の程度に応じ作業に従事できるよう作業種別ごとの配慮や、一部工程を職員が支援するなどして下請け作業を実施しました。
- ・利用者の高齢化等により自主製品の制作は厳しい状況ではあるが、地域で開催するイベント等で購入していただき地域とバンブーを繋ぐ役割を果たしました。

24. 地域活動支援センターふらっと 【サービス区分：地域活動支援センターふらっと事業】

日中の居場所としての役割を果たすと共に、日常的な相談に応じ、安定した地域生活に繋がるよう支援しました。

【令和6年度利用者数 ※()は前年度】

事業実施日数： 246日 (244日)

延べ利用人数： 4,253名・1日平均：16.5名 (4,253名・1日平均：17.4名)

●居場所機能の充実

利用者からの意見や提案による企画を検討、実施しました。

- ・利用者同士のコミュニケーションを図りました。
 - 第1回 令和6年10月4日(金)(参加：15名)カレー作り
 - 第2回 令和6年12月21日(土)(参加：15名)クリスマス会
- ・利用者サークル(名称「ふらおり部」)
 - ※子育て支援センターたちを利用されている親子に折り紙作品をプレゼント
- ・ゆうゆう、ふらっと合同卓球大会 令和6年9月21日(土)(参加：30名)
- ・ペタボード 毎月1回 なごみの会ボランティア
- ・絵手紙講座 毎月1回 講師：渡辺 ミチ 氏
- ・折り紙講座 毎月1回 講師：なごみの会 村松 真由美 氏

●保健・医療・福祉及び地域の社会基盤との連携

- ・広報紙の内容を改良し、市内外各医療機関8か所にも配布しました。
- ・富士宮市障がい療育支援課に、利用者が製作した折り紙とともに広報紙を置いていただきました。

●普及啓発活動の充実

- ・公開講座の開催
 - (1)「はじめての茶道」

講 師：鈴木 宗久 氏

開催日：令和6年5月30日(木)

会場：富士宮市総合福祉会館 調理実習室

参加者：19名(内ふらっと利用者7名)

(2)「我が家の防災対策」

講 師：富士宮市防災危機管理局 土田 大俊 氏、小池 透 氏

開催日：令和6年7月26日(金)

会場：富士宮市総合福祉会館 ふらっとルーム

参加者：18名(内ふらっと利用者9名)

(3)「ニュースポーツ ペットコン」

講 師：富士宮市レクリエーション協会 吉野 集 氏

開催日：令和7年2月1日(土)

会場：富士宮市総合福祉会館 安藤記念ホール

参加者：16名(内ふらっと利用者6名)

(4)「依存症の基礎的な理解」

講 師：医療法人十全会 聖明病院 公認心理師・臨床心理士 松井 一裕 氏

開催日：令和7年3月13日

会場：富士宮市総合福祉会館 第1.2会議室

参加者：19名(内ふらっと利用者2名)

・地域活動支援センター作品展の開催

開催日：令和6年8月1日～8月30日

会場：富士宮市総合福祉会館 ふれあいロビー

・富士宮市主催福祉作品展への出展

開催日：令和6年12月23日～12月26日

会場：富士宮市役所

●ピア活動の推進

・ピアカウンセリング体験の実施

第1回 「身体の健康について」

令和6年5月22日(水) 会場：富士宮市総合福祉会館 参加数3名

第2回 「食べ物について」

令和6年8月21日(水) 会場：富士宮市総合福祉会館 参加数6名

第3回 「体調について気になること」

令和6年11月20日(水) 会場：富士宮市総合福祉会館 参加数3名

第4回 「昨年1年を振り返ってどうだったか」

令和7年2月19日(水) 会場：富士宮市総合福祉会館 参加者3名

・利用者の主体性を高めるため、隔月で利用者ミーティングを開催しました。

令和6年5月11日(土)、7月6日(土)、9月7日(土)、11月9日(土)、令和7年1月18日(土)、3月1日(土)

25. 指定相談事業 【サービス区分：指定相談事業】

障がい者(児)や家族、関係機関からの相談、アセスメントにより、家族関係や困窮・就労・医療・養育に関する困りごとへの対応を、当事者・家族の気持ちに寄り添いながら支援しました。

- ・利用者に解りやすい方法で福祉、医療、制度等の情報を提供中、利用者自身で選択が出来るよう配慮しました。
- ・利用者のニーズに応えるため、市内及び他市町の医療、福祉サービス情報を収集し、関係機関と利用者を繋げることができました。
- ・学校との情報共有や困りごとを相談しあい、関係作りを行えたことで学校との連携が強化できました。
- ・社協内の地域ささえあい係との協働により、利用者を地域活動に繋げていくことができました。またインフォーマルサービスを活用し、地域住民の協力を得ながら支援にあたりました。
- ・相談支援の資質向上を目的に、他の特定相談事業所とも連携し、多職種を交えた事例検討を行いました。(研修回数：職場内研修6回：5月20日、7月2日、10月4日、11月18日、1月8日、3月17日)
- ・一般相談、専門相談支援事業 ※()は前年度
年間実利用人数 275名 (333名)

内大人	184 名	(208 名)
子ども	91 名	(125 名)
延べ相談件数	4,069 件	(4,852 件)
個別ケア会議開催件数	55 件	(78 件)
・指定特定相談支援事業	指定障害児相談支援事業	
プラン作成	712 件	(794 件)

26. 基幹相談支援センター 【サービス区分：基幹相談支援センター事業】

障がい相談支援の拠点として、以下のとおり取り組みました。

●総合的専門的相談

- ・実人員 194 名、延べ 484 件の対応を行いました。
- ・今年度より重層的体制整備事業が開始し、7 ケースの重層的支援会議、1 ケースの支援会議へ出席し、会議を含め延べ 33 件、関係機関との情報共有と支援の見立てを行いました。

●相談支援体制の強化

- ・相談支援部会との情報共有で、相談支援専門員のスキルアップの場として月 1 回ミニ事例検討会や「相談員のしゃべり場」を実施しました。
- ・10 月 16 日富士根包括、12 月 12 日北部包括エリアのケアマネを対象に、障がい相談体制や障害福祉サービスについて説明を行いました。また地域ケア会議へ出席し、ケースを通じて包括との連携強化を行いました。
- ・協議会運営に関して、行政と委託相談と協働しながら、専門部会と自立支援協議会主催の研修企画を行い、事業所の資質向上と地域課題解決を目的に行いました。
- ・他機関との情報共有、他機関連携会議等 延べ 339 件

●退院時のスムーズな地域移行

- ・精神科病院相談員とのネットワーク会議を年 2 回実施し、医療関係との連携を図りました。
 - (1) 令和 6 年 8 月 16 日(金)
「精神疾患を持つ親と子どもに対して、今できることをそれぞれの立場で共有し確認し合おう」
社協委託相談員 齊藤 氏より事例紹介 グループワーク
富士宮市福祉総合相談課 久保田 氏より、重層的体制整備事業の紹介 (25 名参加)
 - (2) 令和 6 年 11 月 19 日(火)、「鷹岡病院」、11 月 20 日(水)「聖明病院」、「大富士病院」へ地域移行に関するヒアリングを行い、現状の社会的入院者、退院先の受け皿の課題や必要な地域資源について共有しました。
 - (3) 令和 7 年 3 月 21 日(金)
精神科病院内の退院支援の現状を知る機会を持ち、退院時に地域の相談員とスムーズな連携協働を図れることを目的に開催しました。
大富士病院 内田相談員 小池作業療法士より講話 グループワーク (24 名参加)
- ・富士圏域地域移行支援部会への参加や地域資源の把握に努めました。

●権利擁護・虐待防止

- ・関係機関との情報共有やコア会議への出席(延べ49件)
- ・権利擁護研修の企画等、富士宮市障がい療育支援課と協働して取り組みました。
- ・研修会の開催
内 容：虐待案件初期相談について 講 師：ふるい後見事務所 古井 氏
開催日：令和7年3月6日(木) 参加者：市内相談員 6名
- ・支援困難事例について、関係機関と事例検討会を企画し実施しました。

27. 障害者居宅介護事業 【サービス区分：障害者居宅介護事業】

新規ケース受け入れのための会議に参加し、対応方法や困難ケースへの支援方法の確認を行い、情報共有・他職種連携を図りました。

新規利用者の獲得により、訪問回数が増加しました。

令和6年度利用者数※()は前年度

居宅介護事業： 23名(21名) 延べ利用数 1,647件(1,512件)

移動支援事業： 4名(4名) 延べ利用数 205件(218件)

- ・ヘルパーミーティングの実施 1回/月 参加率80%
- ・スマートフォンの導入により、訪問介護員から即座に情報伝達を受けられるようになりました。また、相談支援専門員への情報伝達と共有が敏速に行なえました。
- ・ヘルパーミーティングや外部講師を招いての介護技術研修を毎月行い、スキルアップに努めました。
- ・働きやすい環境作り・休暇の取りやすい環境作りの継続に努めました。

28. 障害者同行援護事業 【サービス区分：障害者同行援護事業】

定期的な受信動向や土日・市外への依頼に対応しました。

新規定期利用者獲得により、訪問回数が増加しました。

令和6年度利用者数 * ()は前年度

利用者数 19名(18名) 延べ利用数 1,190件 (1,117件)

- ・ヘルパーミーティングの実施 1回/月 参加率80%
- ・スマートフォンの導入により、訪問介護員から即座に情報伝達を受けられるようになりました。また、介護支援専門員への情報伝達・共有も速やかに行なえました。
- ・ヘルパーミーティングや外部講師を招いての介護技術研修を毎月行い、スキルアップに努めました。
- ・働きやすい環境作り・休暇の取りやすい環境作りの継続に努めました。

29. 総合福祉会館 【サービス区分：福祉会館管理経営事業】

利用される方々が安心して利用できるよう、管理・運営を行いました。また、設備等の劣化による故障や修繕に対応しました。

令和6年度 延べ利用者数：96,422名(前年比：21,356名増)

開館日数： 292日

●自主事業の実施

スマートフォン講座(全4回)×2講座 延参加者 20名

パン作り教室 (全1回)×4講座 延参加者 48名

体操教室 (全4回)×3講座 延参加者 170名

書道教室 (全2回)×1講座 延参加者 12名

切り絵教室 (全2回)×1講座 延参加者 7名

●経費の削減

照明のLED化により、電気料金の削減に努めました。さらに、委託業務契約等においては、見積合わせを行い、適正な価格で契約することで経費削減に努めました。

※令和6年度は、燃料費や光熱水費の値上げと、修繕における材料不足と高騰が続き、コスト増と部品の調達にかかる日数が長期になっている状況です。

●設備・機器の老朽化に対する対応

設備等の保守を委託している業者による点検等で確認された修繕の必要箇所を、14件行いました。

●会館利用促進

- ・館内掲示、ホームページ、SNS、チラシ等で催事のご案内をしています。
- ・くつろぎの湯、よみがえルームを利用する方が快適に過ごせるよう入浴施設や設備等の衛生管理体制に配慮しました。
- ・富士宮市総合福祉会館見学の積極的受け入れ…小学校の福祉教育で富士宮市総合福祉会館の説明を行いました。

●消防訓練の実施

地震や火災を想定し、職員が適切で迅速な対応ができるよう訓練を行い、自衛消防組織の意識向上を図りました。(令和6年9月6日、令和6年12月4日実施)

